

## 平成 25 年 4 月 21 日公開 IT パスポート試験 分析資料

株式会社ウイネット  
情報処理教育研究室

弊社では、模擬試験ご採用校様の一部並びに弊社教材外部ライティングスタッフの皆様から、公開された試験の出題内容に関するご意見を聴取させていただき、情報処理教育研究室で整理及び分析を行いました。今後のご参考として、4 月 21 日に公開された試験（以下、H25 春と表記）の分析をご報告させていただきます。

### 1. 分野別出題数

分野		H25 春	H24 秋	H24 春	H23 秋	H23 春	H22 秋	
1	ストラテジ系	小問	30	30	29	31	32	32
		中間	5	6	7	4	3	3
		合計	35	36	36	35	35	35
2	マネジメント系	小問	21	22	21	21	22	20
		中間	3	2	4	4	3	5
		合計	24	24	25	25	25	25
3	テクノロジ系	小問	33	32	34	36	34	36
		中間	8	8	5	4	6	4
		合計	41	40	39	40	40	40

- CBT 方式（H24 年春）から、小問は問 1～問 84 の 84 問、中間（中間 A～D）は問 85～問 100 の 16 問で構成されています。分野別の出題数は、情報処理技術者試験の試験要綱（IPA）の 15 ページに、100 問出題中、ストラテジ系 35 問程度、マネジメント系 25 問程度、テクノロジ系 40 問程度と明記されています。
- 中間を構成する問題数は、前回と比較して、マネジメント系が 1 問多く、ストラテジ系が 1 問少なくなっています。

### 2. 大分類別出題数

大分類		H25 春	H24 秋	H24 春	H23 秋	H23 春	H22 秋
1	企業と法務	16	17	17	18	19	16
2	経営戦略	12	13	9	11	10	9
3	システム戦略	7	6	10	6	6	10
4	開発技術	9	10	10	9	9	10
5	プロジェクトマネジメント	8	6	8	6	6	8
6	サービスマネジメント	7	8	7	10	10	7
7	基礎理論	7	6	7	5	6	7
8	コンピュータシステム	10	14	8	10	13	9
9	技術要素	24	20	24	25	21	24
合計		100	100	100	100	100	100

- 前回と比較して、2 問以上出題数が増えた大分類は、“技術要素（+4 問）”、“プロジェクトマネジメント（+2 問）”でした。
- 前回と比較して、2 問以上出題数が減った大分類は、“コンピュータシステム（-4 問）”でした。

### 3. 中分類別出題数

中分類		H25 春	H24 秋	H24 春	H23 秋	H23 春	H22 秋
1	企業活動	9	9	11	10	11	11
2	法務	7	8	6	8	8	5
3	経営戦略マネジメント	9	7	5	6	5	8
4	技術戦略マネジメント	1	1	1	1	1	1
5	ビジネスインダストリ	2	5	3	4	4	0
6	システム戦略	5	5	5	4	3	6
7	システム企画	2	1	5	2	3	4
8	システム開発技術	8	9	9	9	9	8
9	ソフトウェア開発管理技術	1	1	1	0	0	2
10	プロジェクトマネジメント	8	6	8	6	6	8
11	サービスマネジメント	4	5	4	6	6	4
12	システム監査	3	3	3	4	4	3
13	基礎理論	4	5	3	3	3	3
14	アルゴリズムとプログラミング	3	1	4	2	3	4
15	コンピュータ構成要素	2	4	3	3	3	3
16	システム構成要素	3	3	2	4	3	3
17	ソフトウェア	4	6	3	3	5	3
18	ハードウェア	1	1	0	0	2	0
19	ヒューマンインタフェース	1	0	1	1	2	2
20	マルチメディア	2	4	4	2	1	1
21	データベース	3	3	4	5	3	4
22	ネットワーク	7	5	7	5	5	3
23	セキュリティ	11	8	8	12	10	14
合計		100	100	100	100	100	100

- 前回と比較して、2 問以上出題数が増えた中分類は、“セキュリティ（+3 問）”、“経営戦略マネジメント（+2 問）”、“プロジェクトマネジメント（+2 問）”、“アルゴリズムとプログラミング（+2 問）”、“ネットワーク（+2 問）”でした。
- 前回と比較して、2 問以上出題数が減った中分類は、“ビジネスインダストリ（-3 問）”、“コンピュータ構成要素（-2 問）”、“ソフトウェア（-2 問）”、“マルチメディア（-2 問）”でした。

### 4. 中間 A～D（問 85～問 100）

	テーマ	分野	難易度	コメント
中間 A	電子メールによるアンケート	ストラテジ系 1 問 テクノロジ系 3 問	やや易	文章を熟読して正しく理解できれば、難なく解けた問題でした。
中間 B	会計システムの導入	ストラテジ系 1 問 マネジメント系 3 問	やや易	基本サービスと要望との違いが理解できれば、難なく解けた問題でした。
中間 C	売上データの分析（表計算）	ストラテジ系 2 問 テクノロジ系 2 問	普通	移動合計の利用目的や目標売上高の意味を考察することがポイントでした。
中間 D	Web サイトを利用した商品販売	ストラテジ系 1 問 テクノロジ系 3 問	やや難	問 98 と問 99 は使用する数値の選択と計算が複雑で、やや難しい問題でした。

### 5. 初めて出題された用語と今後の対策

初めて出題された用語として、総合的品質管理（問 14）、BTO（問 15）、プロジェクトマネジメントオフィス（問 39）、ロードモジュール（問 60）、ランサムウェア（問 62）、BIOS（問 66）、NAT（問 72）、CGI（問 77）、Unicode（問 78）などがあります。

このように、新用語は毎回出題されますが、総合で 60%、各分野で 30%以上得点すれば合格ですので、まずはシラバスの用語を徹底的にマスタし、過去問題及び公開問題で実践力を身に付け、類似問題は 100%正解できるようにする対策が重要になります。